

保育所サービス評価結果記入様式

守山市立吉身保育園(本園) 評価シート

(評価日: R6年1月11日・12日実施)

【共通評価基準】

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
1	① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念、基本方針が文書(事業計画等の法人(保育所)内の文書や広報誌、パンフレット、ホームページ等)に記載されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 理念は、法人(保育所)が実施する保育の内容や特性を踏まえた法人(保育所)の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。
	法人の理念や基本方針は細かく記載されており「職員基本マナーマニュアル」に反映されている。年度初めの会議において、保育の柱として基本方針と理念を周知し目指す方向性を確認しているが、年度初めのみで以降は行えておらず、継続的な取り組みは出来ていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。
	保護者には入園のしおりを読めば、全てがわかるように作成しており、春から夏にかけての園全体の懇談会や、年1回のグループ、クラスの懇談会場で、しおりを元に担任から説明を行い、周知を図っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	エ 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、保護者等への周知が図られている。
			<input type="checkbox"/>	カ 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 理念や基本方針を保護者会等で資料をもとに説明している。(保育所)

I-2 経営状況の把握

I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
2	① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。
	法人本部において、財務等事業経営を取り巻く経営状況が分析され的確に把握されている。2ヶ月に1回開催されている洛和会の園長会にて、現状や方向性を話し合っており、受け入れ人数の報告と経費を説明し法人のデータに残している。地域の子どもの教育や待機児童に関する情報を、守山市と毎月やり取りを行い、共有・把握している。また、月1回開催される市の園長会でも相談や繋がりを持つようになっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの数・利用者(子ども・保護者)像等、保育のニーズ、潜在的利用者に関するデータを収集するなど、法人(保育所)が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に保育のコスト分析や保育所利用者の推移、利用率等の分析を行っている。
3	② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 経営環境や保育の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 経営状況や改善すべき課題について、役員(理事・監事等)間での共有がなされている。
	新任職員に対しプリセプター制度を導入しており、1年を通して指導に当たっている。年に3回面談を行い、職員にあった研修を受講してもらっている。経営は法人と共有しており、ワイズファイナンスで一括管理している。チーフ会議で、法人から経営や改善すべき課題について伝え、利用者率が保てるよう取り組んでいる。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。

I-3 事業計画の策定

I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
4	① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。
	計画書は確認出来なかったが、地域における保育に対する計画内容を法人のホームページに記載している。園としては、課題解決に向けた取り組みが難しい状況にあり、計画の見直しは行っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。
			<input type="checkbox"/>	エ 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。
5	② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 単年度の計画には、中・長期計画の内容を反映した単年度における事業内容が具体的に示されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 単年度の事業計画は、実行可能な具体的な内容となっている。
	園として単年度の事業計画は立てている。年間指導計画が策定され、それに基づき月案、週案、デイリープログラムが策定されている。週案会議などで検討、見直しが行われ次の保育に生かされている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。
			<input type="checkbox"/>	エ 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。

I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
6	① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。
	事業計画は職員会議・学年会議で十分に話し合われている。日々の保育の振り返りを記録に残し、改善するところを明確にし次の保育につなげている。事業計画の見直しは行っているが、時期や手順は定められていない。職員間で事業計画を回覧し、意見を書き入れたものを会議の場で話し合い、見直し策定している。		<input type="checkbox"/>	ウ 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)がされており、理解を促すための取組を行っている。
7	② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 事業計画の主な内容が、保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 事業計画の主な内容を保護者会等で説明している。
	事業計画を掲示していないが、入園のしおりに明記しており、必要に応じて、年齢別クラスでの懇談会や園だより、コドモンで説明を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 事業計画については、保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
8	① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織的にPDCAサイクルにもとづく保育の質の向上に関する取組を実施している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。
	PDCAサイクルが機能している。保育の質の向上に関する取り組みは、全体の個別計画書内で行っており、週末、月末に評価している。また、職員会議を自己評価、第三者評価を検討する場としている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果を分析・検討する場が、組織として位置づけられ実行されている。
9	② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員間で課題の共有化が図られている。
	意見が言いやすいように2つのグループに分けて検討し、取り組みの中で見直しを行っている。計画終了後に評価し改善に繋げている。また、評価の中で明確となった課題の共有化を図るため、文書化し、職員間で閲覧している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input type="checkbox"/>	イ 施設長は、自らの役割と責任について、保育所内の広報誌等に掲載し表明している。
	園長自らの役割や責任について、職員や保護者にある程度周知はされているが、職務分掌等に具体的な役割について明記されていない。園長不在時の権限委任等は明確化されており、連絡網が整備されている。		<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 平常時のみならず、有事(災害、事故等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。
11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。
	遵守すべき法令等に関しては、園長は県主催の研修に参加する以外、保育協会の広報誌を読むのみに留まっている。法人から毎日メールで情報は送信されているが、具体的な取り組みとはいえ、職員に対して職員会議の場で法令等の周知を図ることを期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。
			<input type="checkbox"/>	エ 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。

II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
12	① 保育の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、保育の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、保育の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。
	園長は課題改善に対し口頭で指示・指導するだけでなく、積極的に現場へ入り、一緒に考えられるよう取り組んでいる。保育の質の向上に向けて、法人独自の研修への受講を勧めており、会議の場で意見が出やすいようにグループ分けを行っている。また、プリセプター以外に、乳児・幼児リーダーを設置し、指導にあたるようにしている。年間の研修計画では全体研修・幼児研修・乳児研修・その他とわかりやすく明示され充実している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	施設長は、保育の質の向上について組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、保育の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長は、保育の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。
13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	施設長は、組織の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。
	経営は法人の財務担当者と振り返り・話し合いをし、人事や業務に関することは、子ども未来事業部と相談しながら行っている。事務作業の時間が取れるよう、フリーの職員を配置したり、係り担当をつくり、業務が滞りなく進むように体制を整えている。		<input type="checkbox"/>	ウ	施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、組織内に同様の意識を形成するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために組織内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。

II-2 福祉人材の確保・育成

II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の提供に関わる専門職の配置、活用等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。
	法人や大学へ打診をかけるだけでなく、年2回の就職フェアへの参加や紹介制度を活用しており、職場体験なども受け入れ、人材確保に務めている。人員配置や体制については、法人の子ども未来事業部が把握し振り分けている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画にもとづいた人材の確保や育成が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	法人(保育所)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。
15	② 総合的な人事管理が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	法人(保育所)の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。
	法人が定めた人事基準に基づき、期待する職員像だけでなく職員の心得を明確にしている。保育経験は自己申告となっており、経験によって、処遇改善費を割り振っている。また、自己申告書をベースにして、年3回職員面談を行い、面談の中で総合的に評価している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	職員が、自ら将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みづくりができている。
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)	
16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。
	出退勤のシステムが構築されている。園長がデータ管理、確認を行っており、勤怠の把握ができるようになっている。ストレスチェックを活用しており、園長を筆頭として、プリセプターやリーダーが悩みや相談に乗り、早期に解決できるよう対応している。リクラブで福利厚生を実施し、年3回のワークライフバランス休暇、年10回のリフレッシュ休暇が取得できる取り組みを行っている。保育に関連する研修だけでなく、法人独自の研修も充実しており、人員体制などに対する具体的な計画や改善策は、法人全体で把握し実施している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の悩み相談窓口を組織内に設置するなど、職員が相談しやすいような組織内の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	改善策については、福祉人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	福祉人材の確保、定着の観点から、組織の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。

II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が 確立されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 組織として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 個別面接を行う等保育所の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標が設定されている。
	自己評価用紙内に改善したいことや頑張ろうと思っていることを書く欄があり、年3回の面談時に確認している。自己評価はプリントアウトし個々に管理している。評価期間終了後は法人に送信され管理を行っている。また、職員が担当になる部会にあった研修に参加してもらい、保育の質が向上するようにしている。定期的な個別面談以外にも日々のコミュニケーションが取れており、悩みや課題を日頃から聞き取りできている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 職員一人ひとりの目標の設定は、目標項目、目標水準、目標期限が明確にされた適切なものとなっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。
18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所が目指す保育を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、保育所が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。
	保育所が目指す職員像としてあるべき姿と現在の姿、そのギャップが明確にされ、あるべき姿に近づくための研修を受講できるように定期的に研修計画表を見直している。絵本に付帯している広告などを参照に、動画を見て学ぶ研修を取り入れている。研修計画は半年に一度整理し年度末に見直し、次年度に活かせるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 定期的に計画の評価と見直しを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。
19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。
	キャリアアップに関しては、聞き取りや自己申告によって把握しており、終了証は個人で管理している。新任職員にはプリセプター制度を導入しており、園長を始めとして、乳・幼児の各リーダーがOJTを行えるような体制を整えている。外部研修への参加を推奨しており、業務で参加できるよう配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の 研修・育成が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。
	実習生受け入れマニュアルがあり、基本姿勢が明文化されている。実習の目的や受け入れ基準も明確にしてあり、社会福祉の増進につなげようとする熱意と情熱を感じる。指導者は実習指導研修を受けており、指導体制が出来ている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 指導者に対する研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。

II-3 運営の透明性の確保

II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が 行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ホームページ等の活用により、法人、保育所の理念や基本方針、保育の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公表している。
	苦情内容は記録に残している。個人的なものが多くその場で返答すようにしているが、時間が必要なものに関しては、市へ相談し解決に向けて取り組んでいる。公表については、個人的な苦情もあり内容や改善・対策について、完全な公表はできかねている。地域に園だよりを配布しているが、理念や方針までは掲載しておらず、関係している機関だけでも良いので、保育の本質である理念と基本方針の周知を期待したい。		<input type="checkbox"/>	ウ 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづき改善・対応の状況について公表している。
			<input type="checkbox"/>	エ 法人(保育所)の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人(保育所)の存在意義や役割を明確にするように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域へ向けて、理念や基本方針、事業所で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。
22	② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所における事務、経理、取引等に関するルールが明確にされ、職員等に周知している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所における事務、経理、取引等に関する職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。
	備品管理の計画書を策定している。事務員が園全体の経理や物品購入を行い、園長が必ずチェックするダブルチェック体制が出来ている。取引に関しては小口は園と法人、大口は法人で管理をしており、年1回の内部監査を実施している。外部監査も活用しており、指摘があれば改善を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所における事務、経理、取引等について、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得ている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 外部監査の活用等により、事業、財務に関する外部の専門家によるチェックを行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 外部監査の結果や公認会計士等による指導や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

II-4 地域との交流、地域貢献

II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 活用できる社会資源や地域の情報を収集し、掲示板の利用等で保護者に提供している。
	地域の高齢者(ハッピーさん)や子育て支援サークル(さくらんぼ教室)など、民生委員を中心として来園、交流を図っている。地域以外の交流としては、学区の文化祭に絵を展示する等で参加している。活用できる社会資源や地域の情報などは掲示板で知らせるだけでなく、広報誌を気軽に取れるよう、玄関ホールにラックに陳列している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育所や子どもへの理解を得るために、地域の人々と子どもとの交流の機会を定期的に設けるなどの取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 個々の子ども・保護者のニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。
24	② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア ボランティア受入れに関する基本姿勢を明文化している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化している。
	ボランティア受け入れマニュアルが整備されており、保育科高校生の一日保育体験や、中学生の職場体験などを受け入れている。ボランティアに対しての必要な研修は行っていないが、担当者を決めて支援は行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ ボランティア受入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している
			<input type="checkbox"/>	エ ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 学校教育への協力を行っている。
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 当該地域の関係機関・団体について、個々の子ども・保護者の状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。
	子どもの状態に応じて、すこやかセンターや小児医療機関などの情報を提供しており、保育内容検討委員会で意見や助言をもらっている。情報交換の場として年に何回か集まり、民生委員や市に相談している。学期ごとに、市の子ども家庭相談室より職員が来園するほか、表面化してこないケースには、民生委員と協力し、情報を共有し見守り・連携を図っている。年数が経つと、要保護から要支援になり、外れていくケースもあり、その場合においても状況を見守っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子ども・保護者のアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 家庭での虐待等権利侵害が疑われる子どもへの対応について、要保護児童対策地域協議会への参画、児童相談所など関係機関との連携が図られている。(保育所)
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)
26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所のスペースを活用して地域の保護者や子ども等との交流を意図した取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の専門性や特性を活かし、地域の保護者や子ども等の生活に役立つ講演会や研修会等を開催して、地域へ参加を呼びかけている。
	地域の子どものための遊びの機会として1. 2才児向けのさくらんぼ教室を月1回開催しており、縦割り保育という園の特性を活かし、子育て相談に応じている。保護者講演会が中心となり、どのような話が聞きたいかの意向を確認し、講演会や研修会を開催している。地域の文化祭やお祭りに参加し、まちづくりの一環に貢献している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の専門性や特性を活かした相談支援事業、子育て支援サークルへの支援等、地域ニーズに応じ地域の保護者や子ども等が自由に参加できる多様な支援活動を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 災害時の地域における役割等について確認がなされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 多様な機関等と連携して、社会福祉分野に限らず地域の活性化やまちづくりに貢献している。
27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所の機能を地域に還元することなどを通じて、地域の福祉ニーズの把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 民生委員・児童委員等と定期的な会議を開催するなどによって、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
	運動会などの園の行事に、地域の方を招き参加してもらっている。情報交換の場を設け、民生委員等と定期的に話し合い、市の未来支援課とも連携を図り、ニーズの把握に努めているが、社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動までは実施出来ていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 地域住民に対する相談事業を実施するなどを通じて、多様な相談に応じる機能を有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 関係機関・団体との連携にもとづき、具体的な福祉ニーズの把握に努めている。
			<input type="checkbox"/>	オ 把握した福祉ニーズにもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 把握した福祉ニーズにもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針に、子どもを尊重した保育の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもを尊重した保育の提供に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。
	「人権保育推進計画」「人権ガイドライン」が整備されており、基本的な考え方・授乳食に関すること・排泄に関すること・睡眠に関すること・その他の生活面・遊びに関することと細分化され明記されている。日案・週案・月案の中で、子どもの尊重や基本的人権への配慮をしており、人権についての研修に参加するだけでなく、各職員がセルフチェックで振り返りを行っている。保護者に対する理解を図る取り組みとして、年3回、人権だよりを発行している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どもを尊重した保育に関する基本姿勢が、保育の標準的な実施方法等に反映されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、組織で勉強会・研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもが互いを尊重する心を育てるための具体的な取組を行っている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 性差への先入観による固定的な対応をしないように配慮している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 子どもの人権、文化の違い、互いに尊重する心について、その方針等を保護者に示すとともに、保護者も理解を図る取組を行っている。(保育所)
29		s 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもの虐待防止等の権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。
	プライバシー保護のマニュアルは作成されていないが、個人情報管理要領内に、プライバシー保護に関して明記されている。「虐待児対応マニュアル」が整備されており、些細なことでも見逃ささないよう普段から申し送っている。プライバシー保護に関して、SNSに載せる際には承諾書をもっており、無断で掲載しないよう人権だよりなどをお願いしている。マニュアルはあるものの、発生した場合の対応方法等の明示が無く、最悪な事態を避け適切な対応が取れるよう、早急に整備されることが望ましい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 子どものプライバシー保護と虐待防止に関する知識、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務、利用者のプライバシー保護や権利擁護に関する規程・マニュアル等について、職員に研修を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守るよう設備等の工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子ども・保護者にプライバシー保護と権利擁護に関する取組を周知している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 規程・マニュアル等にもとづいた保育が実施されている。
			<input type="checkbox"/>	キ 不適切な事案が発生した場合の対応方法等が明示されている。
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意(自己決定)が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)
30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 理念や基本方針、保育の内容や保育所の特性等を紹介した資料を、公共施設等の多くの人が入手できる場所に置いている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。
	園の理念や基本方針・保育の内容や保育所の特性などを紹介した資料を市役所等に設置している。また、園見学・利用希望者には随時対応しており、園紹介の資料は1年ごとに見直し、市に提出している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用希望者については、個別に丁寧な説明を実施している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 見学等の希望に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 利用希望者に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。
31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育の開始及び保育内容の変更時の説明と同意にあたっては、保護者等の意向に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育の開始・変更時には、保護者等がわかりやすいように工夫した資料を用いて説明している。
	外国籍の保護者への配慮として、資料や書面にルビをふったり、個別で説明を行うなどしている。保育内容や行事の変更がある場合、全家庭に周知できるように情報を発信している。できる限り個別に丁寧な対応をするように努めている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 説明にあたっては、保護者等が理解しやすいような工夫や配慮を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 特に配慮が必要な保護者への説明についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。
32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 保育所等の変更にあたり、保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所の利用が終了した後も、保育所として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。
	気になる園児や保護者がいる場合、小学校に上がる際に引継ぎを行っている。利用終了後の相談には、リーダーや主任、園長が窓口になっている。		<input type="checkbox"/>	ウ 保育所の利用が終了した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は□にチェック)

33	① 利用者満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々の保育のなかで、子どもの満足を把握するように努めている。(保育所)
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者に対し、利用者満足に関する調査が定期的に行われている。(保育所)
	年1回、行事や園に関する満足度等のアンケートを実施しており、集計したものを職員会議などの場で報告し、どうすれば良いか意見をもらい改善に努めている。保護者会には園長や主任も参加し、意見を聞き取っている。個別面談で出た意見等も職員会議で話し合い検討が行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者への個別の相談面接や聴取、保護者懇談会が、利用者満足を把握する目的で定期的に行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員等が、利用者満足を把握する目的で、保護者会等に出席している。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	利用者満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、検討会議の設置等が行われている。(保育所)
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。(保育所)
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
34	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を保護者等に配布し説明している。
	入園のしおりに、苦情解決の仕組みを明記しており、玄関ホールに、第三者委員会の連絡先を掲示している。年1回のアンケート以外に、普段から苦情を申し出しやすいよう、意見箱を設置するなどの工夫を行っており、苦情内容を記録したファイルを作成している。苦情内容によって、保護者にフィードバック可能なものと難しいものがあり、個人情報絡むものも多いため、苦情内容や解決結果などの公表は行っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	苦情内容については、受付と解決を図った記録が適切に保管している。
			<input type="checkbox"/>	オ	苦情内容に関する検討内容や対応策については、保護者等に必ずフィードバックしている。
			<input type="checkbox"/>	カ	苦情内容及び解決結果等は、苦情を申し出た保護者等に配慮したうえで、公表している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	苦情相談内容にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
35	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保護者が相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等に、その文章の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。
	職員室内に相談を受けるスペースを確保しており、相談体制について、入園のしおりに明記している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	相談しやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。
36	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。
	苦情解決に係る規定が整備されており、苦情解決までのフローチャートが作成されている。また、規定は一年に1回見直しを行っている。保護者の意見を傾聴し相談事に丁寧に対応することで、心配事や悩みが小さいうちに対応できるよう日々努めている。苦情内容によっては、市と相談するなどし、迅速かつ適切に対応できるようにしている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	職員は、日々の保育の提供において、保護者が相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	意見箱の設置、アンケートの実施等、保護者の意見を積極的に把握する取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	意見等にもとづき、保育の質の向上に関わる取組が行われている。
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
37	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネジャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。
	「緊急時対応マニュアル」や「防犯対策マニュアル」などの他に、時事的な事案に対するマニュアルが整備されている。また安全計画も作成されており、定期的に見直しが行われている。収集した事例は、リスクマネジメント委員会ではなく会議の場で検証している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。

38	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a	☑	ア	感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し、職員に周知徹底している。
	看護師を中心に園長・主任担任が相談しながら安全確保に取り組んでいる。登園時の検温や目視で感染症予防が適切に講じられている。感染症予防と発生時の対応マニュアルは職員に周知され定期的な見直しも行われている。守山市の関係機関とも連携が取れており感染症情報システムを使い知り得た情報は、連絡ボードや保健だよりで保護者にも伝えられている。コドモンや園だよりなどで、感染症への注意喚起を行い、玄関ホールに感染者数と感染内容を掲示し、保護者へ情報を提供している。		☑	ウ	担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。
			☑	エ	感染症の予防策が適切に講じられている。
			☑	オ	感染症の発生した場合には対応が適切に行われている。
			☑	カ	感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を定期的に見直している。
			☑	キ	保護者への情報提供が適切になされている。(保育所)
39	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	☑	ア	災害時の対応体制が決められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	立地条件等から災害の影響を把握し、建物・設備類、保育を継続するために必要な対策を講じている。
	毎月避難訓練を行っており、火事や地震を想定したものだけでなく、水害などを想定した訓練や、地元企業や警察の協力のもと交通安全教室にも取り組んでいる。マニュアル内にはフローチャートが明記されている。安否確認はコドモンで確認しており、引き渡しについては来園と帰園マグネットで把握するようにしている。避難所に指定されていないので、園内に備蓄はしていないが避難リュックなどは準備している。		☑	ウ	子ども、保護者及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。
			☑	エ	食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。
			☑	オ	防災計画等整備し、地元の行政をはじめ、消防署、警察、自治会、福祉関係団体等と連携するなど、体制をもって訓練を実施している。

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		第三者評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され福祉サービスが提供されている。	a	☑	ア	標準的な実施方法が適切に文書化されている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	標準的な実施方法には、子どもの尊重、プライバシーの保護や権利擁護に関わる姿勢が明示されている。
	入園のしおりに保育内容を明記しており、週案・月案にて振り返り見直しを行っている。保育内容検討会議などで、定期的実施内容を見直す機会を設けており、職員への周知の場にもなっている。		☑	ウ	標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。
			☑	エ	標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。
			☑	オ	標準的な実施方法により、保育実践が画一的なものとなっていない。(保育所)
41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a	☑	ア	保育の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が組織で定められている。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	保育の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的実施されている。
	週末と月末に実施方法を見直している。保護者からの意見は、月案と年間指導計画の中に反映できるよう取り組んでいる。		☑	ウ	検証・見直しにあたり、指導計画の内容が必要に応じて反映されている。
			☑	エ	検証・見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		第三者評価結果	☑	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	a	☑	ア	指導計画策定の責任者を設置している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。
	アセスメントは子どもの実態を観察できるクラス担任がアセスメント手法に基づいて行い、指導計画等を記入している。乳幼児リーダーが確認後、主任や園長が最終確認している。支援が必要な園児に対し、市の発達支援課と情報を共有し、相談しながら実施している。また、5歳児対象ではあるが、言葉の教室への参加を促している。		☑	ウ	さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。
	個別面談で得たニーズを、誕生月と半年ごとに指導計画に反映させ、家庭との園との保育連携を図っている。支援困難ケース及び要支援園児については、市で決められた様式に沿って支援計画書を保護者に確認するようにしている。		☑	エ	保育課程にもとづき、指導計画が策定されている。(保育所)
			☑	オ	子どもと保護者等の具体的なニーズ等が、個別の指導計画等に明示されている。(保育所)
			☑	カ	計画の策定にあたり、さまざまな職種の関係職員、必要に応じて保育所以外の関係者が参加しての合議、保護者の意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。(保育所)
			☑	キ	指導計画にもとづく保育実践について、振り返りや評価を行う仕組みが構築され、機能している。(保育所)
			☑	ク	支援困難ケースへの対応について検討し、積極かつ適切な保育の提供が行われている。(保育所)
43	② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a	☑	ア	指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、保護者の意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。
	判断した理由・特記事項等		☑	イ	見直しによって変更した指導計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。
	指導計画への保護者の同意文書を整備しており、関係職員に対し、会議の場で見直したものと意見を説明している。		☑	ウ	指導計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。
			☑	エ	指導計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、子ども・保護者のニーズ等に対する保育・支援が十分ではない状況等、保育の質の向上に関わる課題等が明確にされている。

Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点 (該当する場合は口々にチェック)	
44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの発達状況や生活状況等を、保育所が定めた統一した様式によって把握し記録している。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個別の指導計画等にもとづく保育が実施されていることを記録により確認することができる。
統一様式によって記録しており、記録に関するマニュアルは無いが書き方の指導は行っている。また、気になる文章は色を変え、分かりやすくしている。会議に参加できなかった職員に対し、会議記録を回覧し、情報の共有と周知に努めている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	情報共有を目的とした会議の定期的な開催等の取組がなされている。
45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。
判断した理由・特記事項等			<input checked="" type="checkbox"/>	イ	個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。
個人情報保護規程を整備しており、書類の保存期間も定め適切に管理している。個人情報の漏洩防止対策として、USBの使用を禁止している。パソコンの共有フォルダーにマニュアルがあり、個人的に閲覧してもらっているほか、現場に即したマニュアルを整備し、年1回読み合わせを行い必要な見直しを行っている。個人情報取り扱いについて、保護者から同意書を得ている。			<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	記録管理の責任者が設置されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	個人情報の取扱いについて、保護者等に説明している。

【内容評価基準】

IV-1 保育内容

IV-1-(1) 全体的な計画（保育課程）の編成		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画（保育課程）を編成している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 全体的な計画（保育課程）は、児童憲章、児童の権利に関する条約、児童福祉法、保育所保育指針などの趣旨をとりあへて編成している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 全体的な計画（保育課程）は、保育所の理念、保育の方針や目標に基づいて編成している。
	全体的な計画（保育課程）は、法人と連携し作成している。核家族が多いなど地域の実態を考慮し、保育課程は個々に対応・検討しながら作成している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 全体的な計画（保育課程）は、子どもの発達過程、子どもと家庭の状況や保育時間、地域の実態などを考慮して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 全体的な計画（保育課程）は、保育に関わる職員が参画して編成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 全体的な計画（保育課程）は、定期的に評価を行い、次の編成に生かしている。
IV-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点（該当する場合は□にチェック）
47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 室内の温度、湿度、換気、採光、音などの環境は、常に適切な状態に保持している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 保育所内外の設備・用具や寝具の衛生管理に努めている。
	室内の温度や湿度、換気などは、天気や気温に応じて保育士が管理とチェックを行っている。「設備点検作業手順書」が整備されており、保育所内外の設備や用具の安全管理に努めている。園児が使用している寝具は、週1回持ち帰り、洗濯し衛生を保ってもらえるよう保護者に声を掛けている。1階の階段下に絵本のコーナーがあり、くつろぎ、心を整える場として活用している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 家具や遊具の素材・配置等の工夫をしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもが、くつろいだり、落ち着ける場所がある。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 食事や睡眠のための心地よい生活空間が確保されている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 手洗い場・トイレは、明るく清潔で、子どもが利用しやすい設備を整え、安全への工夫がされている。
48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもの発達と発達過程、家庭環境等から生じる一人ひとりの子どもの個人差を十分に把握し、尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、対応している。
	日頃から家庭の様子を保護者に聞いたりするだけでなく、個別面談で得たニーズを、保育計画のねらいに反映出来るよう取り組んでいる。否定ではなく肯定的な会話を行うよう指導しており、子どもの思いを尊重し、寄り添えるように心がけている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 自分を表現する力が十分でない子どもの気持ちをくみとろうとしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 子どもの欲求を受けとめ、子どもの気持ちにそって適切に対応している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 子どもに分かりやすい言葉づかいで、おだやかに話している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ せかす言葉や制止させる言葉を不必要に用いないようにしている。
49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることのできる環境の整備、援助を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 一人ひとりの子どもの発達に合わせて、生活に必要な基本的な生活習慣を身につけられるよう配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、子どもが自分でやろうとする気持ちを尊重して援助を行っている。
	個々の状態に合わせて行動を見守るようにしており、したいことが出来るよう環境を整えている。午睡に関しては、4歳時の秋終わり頃に保護者へ意向を確認し、5歳時の夏終わりには午睡をしない園児がほとんどではあるが、するかしないかを本人にも確認をしている。体力が持たない園児については、保護者と相談し、30分程度の仮眠を取ってもらえるよう配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 基本的な生活習慣の習得にあたっては、強制することなく、一人ひとりの子どもの主体性を尊重している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 一人ひとりの子どもの状態に応じて、活動と休息のバランスが保たれるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 基本的な生活習慣を身につけることの大切さについて、子どもが理解できるように働きかけている。
50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア 子どもが自主的・自発的に生活と遊びができる環境を整備している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ 子どもが自発性を発揮できるよう援助している。
	子ども一人一人に遊びの意向を確認し、遊びの内容や時間、環境を整備している。縦割り保育によって、異年齢の子どもと常に関わり、兄弟・姉妹関係のような関りが持てるよう援助している。身近な自然と触れ合えるよう畑をつくり、花の種や野菜を植え、水やりや虫取りをし、収穫した野菜を食育の一環として給食で提供している。地域の高齢者（ハッピーさん）に来園してもらうことはあるが、園から近くの公園まで距離があることもあり、地域での園外活動は行っていない。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ 遊びの中で、進んで身体を動かすことができるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ 戸外で遊ぶ時間や環境を確保している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ 生活と遊びを通して、友だちなどと人間関係が育まれるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ 子どもたちが友だちと協同して活動できるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ 社会的ルールや態度を身につけていくよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク 身近な自然とふれあうことができるよう工夫している。
			<input type="checkbox"/>	ケ 地域の人たちに接する機会、社会体験が得られる機会を設けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	コ 様々な表現活動が自由に体験できるよう工夫している。

51	乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に ⑤ 展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	0歳児が、長時間過ごすことに適した生活と遊び及び環境への工夫がされている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	0歳児が、安心して、保育士等と愛着関係(情緒の安定)が持てるよう配慮している。
	保育士と愛着関係が持ちやすいよう、3対1の配置基準となっている。0才児年間指導計画に基づき育児担当保育が行われている。家庭的な雰囲気の中で保育者の愛情を感じ過ごせるように、1対1の関わりが持たれている。一人ひとりの発達に即した応答的な関わりが持たれている。家庭との連携を密にするため、連絡帳にて状況の把握に努めており、個々の発達過程に応じた保育を行っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの表情を大切に、応答的な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	0歳児が、興味と関心を持つことができる生活と遊びへの配慮がされている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	0歳児の発達過程に応じて、必要な保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	0歳児の生活と遊びに配慮し、家庭との連携を密にしている。
52	3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に ⑥ 育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの状況に応じ、子どもが自分でしようとする気持ちを尊重している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	探索活動が十分に行えるような環境を整備している。
	朝と夕方は、0・1・2歳児合同保育を行っている。遊びを含め、自分でしようとする気持ちを尊重し、自発的に活動できるような関わりを持ち、危険がない限り見守っている。ハッピーさんに手伝ってもらい、畑をつくり、探索活動が行えるようにしている。誤飲ししやすい年齢でもあり、口に入れやすい大きさの物は、子どもの手が届かない場所に保管し、安全に過ごせる環境を整えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもが安心して遊びを中心とした自発的な活動ができるよう、保育士等が関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの自我の育ちを受け止め、保育士等が適切な関わりをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等が、友だちとの関わりの中を仲立ちをしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	様々な年齢の子どもや、保育士以外の大人との関わりを図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	一人ひとりの子どもの状況に応じ、家庭と連携した取組や配慮がされている。
53	3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に ⑦ 展開がされるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	3歳児の保育に関して、集団の中で安定しながら、遊びを中心とした興味関心のある活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	4歳児の保育に関して、集団の中で自分の力を発揮しながら、友だちとともに楽しみながら遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
	市の政策の一環として、英語に触れ合う機会(ハロー・イングリッシュ)が5歳児を対象に設けられており、月1回歌を歌ったりして触れ合っている。園での子どもの様子がわかるよう、小学校に上がる際に児童要録を渡している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	5歳児の保育に関して、集団の中で一人ひとりの子どもの個性が活かされ、友だちと協力して一つのことをやり遂げるといった遊びや活動に取り組めるような環境を整え、保育士等が適切に関わっている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子どもの育ちや取り組んできた協同的な活動等について、保護者や地域・就学先の小学校等に伝える工夫や配慮がされている。
54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	建物・設備など、障害に応じた環境整備に配慮している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	障害のある子どもの状況に配慮した個別の指導計画を作成し、クラス等の指導計画と関連づけている。
	障害のある子どもが在籍していることや、市が開催する障害向けの研修も多々あり、担当保育士に参加してもらい、障害に対する知識や援助方法、情報を得られるよう務めている。職員は研修を受けるだけでなく、市の発達支援課やすこやかセンターなどの専門機関に相談し、助言を受けながら、必要な情報と知識を得て、個々の状況に応じた保育を行っている。障害のある子ども、そうでない子ども同士がお互いの様子を気にかけて、助け合いながら遊んでおり、2歳までは連絡帳を活用し、保護者との連携を密にし、園での生活に配慮している。3歳児は何をしたか掲示し、園での様子を聞く等、保護者に子どもとの会話を促している。障害のある子どもを持つ保護者の意向がある場合は、他の保護者に説明を行っているが、そうでない場合は説明を行っていない。トラブルが起こりやすく、より慎重・丁寧な対応が求められるものでもあることから、リスクマネジメントの視点からも、入園のしおり等への明記を考えてもらいたい。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	計画に基づき、子どもの状況と成長に応じた保育を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	子ども同士の関わりに配慮し、共に成長できるようにしている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	必要に応じて、医療機関や専門機関から相談や助言を受けている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員は、障害のある子どもの保育について研修等により必要は知識や情報を得ている。
			<input type="checkbox"/>	ク	保育所の保護者に、障害のある子どもの保育に関する適切な情報を伝えるための取組を行っている。
55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	1日の生活を見通して、その連続性に配慮し、子ども主体の計画性をもった取組となっている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	家庭的でゆったりと過ごすことができる環境を整えている。
	延長保育となった子どもへのおやつは、18時～19時の間に提供しており、お迎えまでの時間を穏やかに過ごせるよう配慮している。引き継ぎ職員への連絡事項はファイルに記入されており、口頭でも申し送りを行い、保護者に確実に伝えられるように努めている。問題があった時は、担当職員から話をするようにしており、時間を割けない場合は、後日に個別懇談の日を設け対応にあたっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの状況に応じて、おだやかに過ごせるよう配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	年齢の異なる子どもと一緒に過ごすことに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育時間の長い子どもに配慮した食事・おやつ等の提供を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	子どもの状況について、保育士間の引継ぎを適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	担当の保育士と保護者との連携が十分にとれるように配慮している。

56	小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	計画の中に小学校との連携や就学に関する事項が記載され、それに基づいた保育が行われている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが、小学校以降の生活について見通しを持てる機会が設けられている。
	年に2回、5歳児と5年生の5・5交流の機会を持っている。食事時間を調整したり適切な声掛けを子どもや保護者にすることで、スムーズに小学校へ移行できるように日々の保育ができています。保育士と小学校教員との就学前合同研修や意見交換を行うなど、連携が図れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者が、小学校以降の子どもの生活について見通しを持てる機会が設けられている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等と小学校教員との意見交換、合同研修を行うなど、就学に向けた小学校との連携を図っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	施設長の責任のもとに係る職員が参画し、保育所児童保育要録を作成している。
IV-1-(3) 健康管理		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握している。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの体調悪化・けがなどについては、保護者に伝えるとともに、事後の確認をしている。
	子どもたちの健康管理マニュアルが有り、感染防止と対策、怪我や事故のときの対応、発病時の対応と細かく明文化されている。手順や準備物・注意事項が明記してあるため緊急時パニックになることなく迅速に対応できる体制が整っている。看護師や園長を中心として、必要時には園外の関係機関とも連携を図っている。保健だよりも発行・配布され、タイムリーな情報が保護者にも伝えられている。掲示板でも簡潔にわかりやすく感染症等の情報を伝えている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの保健に関する計画を作成している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	一人ひとりの子どもの健康状態に関する情報を、関係職員に周知・共有している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	既往症や予防接種の状況など、保護者から子どもの健康に関わる必要な情報が常に得られるように努めている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保護者に対し、保育所の子どもの健康に関する方針や取組を伝えている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	職員に乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する知識を周知し、必要な取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	保護者に対し、乳幼児突然死症候群(SIDS)に関する必要な情報提供をしている。
58	② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	健康診断・歯科健診の結果が記録され、関係職員に周知されている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	健康診断・歯科健診の結果を保健に関する計画等に反映させ、保育が行われている。
	定期検診の結果は保護者に伝え保護者の押印を確認として返却してもらっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	
59	③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	アレルギー疾患のある子どもに対して、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」をもとに、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	慢性疾患等のある子どもに対して、医師の指示のもと、子どもの状況に応じた適切な対応を行っている。
	アレルギー対応マニュアルが有り、アレルギー疾患のある園児は給食のメニューのファイルを個別につくり押印確認を行っている。取り違いが起きないように机も分け、給食室とも連携できている。園児の情報はクラス間だけでなく会議にて園全体に周知されている。十分な体制を取っているが、方が一のこと起きたときには園内誰もがアナフィラキシーショックに対応できるように研修も行われている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者との連携を密にして、保育所での生活に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食事の提供等において、他の子どもたちとの相違に配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	職員は、アレルギー疾患、慢性疾患等について研修等により必要は知識・情報を得たり、技術を習得している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	他の子どもや保護者にアレルギー疾患、慢性疾患等についての理解を図るための取組を行っている。
IV-1-(4) 食事		第三者 評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	食に関する豊かな経験ができるよう、保育の計画に位置づけ取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれる環境・雰囲気づくりの工夫をしている。
	園児が畑で育てた野菜を調理室へ持って行き、調理をしてもらい食育に活かしている。調理の職員が行事食を紹介したり伝えたりしながら、みんなで楽しく食事が摂れるように工夫している。乳児に関しては摂取量をコードモンに記入して、保護者へ知らせたり口頭で伝えている。すべての園児の残食状況は記録され献立や調理に反映されている。子どもの食べる量を把握して、声掛けや配膳の工夫で少しでも食べられるように、また達成感が持てるように配慮している。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	子どもの発達に合わせた食事の援助を適切に行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	エ	食器の材質や形などに配慮している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	オ	個人差や食欲に応じて、量を加減できるように工夫している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	カ	食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるよう援助している。
			<input checked="" type="checkbox"/>	キ	子どもが、食について関心を深めるための取組を行っている。
			<input checked="" type="checkbox"/>	ク	子どもの食生活や食育に関する取組について、家庭と連携している。

61	② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	一人ひとりの子どもの発育状況や体調等を考慮した、献立・調理の工夫をしている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	子どもの食べる量や好き嫌いなどを把握している。
	月に1回給食会議を行い、残食の調査記録や日頃の子どもの様子を参考に話し合いが持たれている。カミカミメニューや季節を取り入れた献立等、子どもたちが楽しんで食べる喜びが感じられるように工夫している。苦手な食事は形状を変えてみたり少しでも自ら食べてみようと感じられるように、丁寧な関わりを持たれている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	残食の調査記録や検食簿をまとめ、献立・調理の工夫に反映している。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	季節感のある献立となるよう配慮している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	地域の食文化や行事食などを取り入れている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	調理員・栄養士等が、食事の様子を見たり、子どもたちの話を聞いたりする機会を設けている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	衛生管理の体制を確立し、マニュアルにもとづき衛生管理が適切に行われている。	

IV-2 子育て支援

IV-2-(1) 家庭との緊密な連携		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	連絡帳等により家庭との日常的な情報交換を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保育の意図や保育内容について、保護者の理解を得る機会を設けている。
	乳児は連絡帳で、幼児はお便り帳の裏面を利用して、園や家庭の様子の情報交換が行えている。保育の意図や保育内容に理解が得られるよう日々のコミュニケーションで信頼関係構築に努めており、家庭との連携が図れている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	様々な機会を活用して、保護者と子どもの成長を共有できるよう支援をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	家庭の状況、保護者との情報交換の内容を必要に応じて記録している。	
IV-2-(2) 保護者等の支援		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
63	① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くよう取組を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	保護者等からの相談に応じる体制がある。
	子どもの成長を共有する場として、日々の送迎時や個別懇談会、クラス別懇談会と様々な機会を設けている。保護者が相談してきたときの心得はマニュアルにも明記しており、職員に周知されている。必要時記録した際も適切に記録保管されている。また園児以外にも「さくらんぼ教室」を開催することで地域の保護者にも寄り添っている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保護者の就労等の個々の事情に配慮して、相談に応じられるよう取組を行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育所の特性を生かした保護者への支援を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	相談内容を適切に記録している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	相談を受けた保育士等が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制を整えている。	
64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	虐待等権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもの心身の状態、家庭での養育の状況について把握に努めている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	虐待等権利侵害の可能性があると職員が感じた場合は、速やかに保育所内で情報を共有し、対応を協議する体制がある。
	虐待等の権利侵害の兆候を見逃さないように、子どもに丁寧な関わりができており、虐待対応マニュアルを遵守している。早期発見のポイントとして、子どもの行動や状況、家庭・養育者等の行動や状況に変化がないか観察できている。市の子ども家庭相談課との連携も日常的に行われており、何かあればすぐに関係機関と連絡が取れる体制ができおり、虐待対応マニュアルにも関係機関への通告義務が明記されている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	虐待等権利侵害となる恐れがある場合には、予防的に保護者の精神面、生活面の援助をしている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	職員に対して、虐待等権利侵害が疑われる子どもの状態や行動などをはじめ、虐待等権利侵害に関する理解を促すための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	児童相談所等の関係機関との連携を図るための取組を行っている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	虐待等権利侵害を発見した場合の対応等についてマニュアルを整備している。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	キ	マニュアルにもとづき職員研修を実施している。	

IV-3 保育の質の向上

IV-3-(1) 保育実践の振り返り(保育士等の自己評価)		第三者評価結果	<input checked="" type="checkbox"/>	評価の着眼点(該当する場合は□にチェック)	
65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a	<input checked="" type="checkbox"/>	ア	保育士等が、記録や職員間の話し合い等を通じて、主体的に自らの保育実践の振り返り(自己評価)を行っている。
	判断した理由・特記事項等		<input checked="" type="checkbox"/>	イ	自己評価にあたっては、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの心の育ち、意欲や取り組む過程に配慮している。
	定期的に保育実践の振り返りが主体的に行われている。職員基本マナーマニュアルの基本的心得や園児に向き合う日々の保育への意欲や取り組む過程を自己評価し、評価反省することで次の目標ができ、より質の高い保育実現に繋がっている。		<input checked="" type="checkbox"/>	ウ	保育士等の自己評価を、定期的に行っている。
		<input checked="" type="checkbox"/>	エ	保育士等の自己評価が、互いの学び合いや意識の向上につながっている。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	オ	保育士等の自己評価にもとづき、保育の改善や専門性の向上に取り組んでいる。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	カ	保育士等の自己評価を、保育所全体の保育実践の自己評価につなげている。	